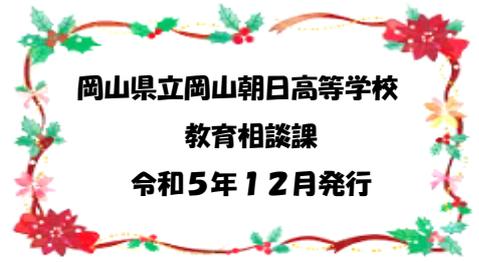


# 相談課 便箋

\*第74号



岡山県立岡山朝日高等学校

教育相談課

令和5年12月発行

## 令和5年度 ピア・サポート活動について

北村 博典

この活動は平成19年度10月から始まり、「自重互敬」の育成を主眼に教育相談課で多少形を変えつつ今日まで活動を継続しています。自己理解と他者への関心、理解、共感力の育成を主軸としながら、個人のコミュニケーション能力やグループ内の問題解決能力を高め、互いに成長することがねらいです。また、将来的には生徒の皆さんが、帰属集団や社会そのものを俯瞰的に捉え、他者へ有機的に働きかけていくことができる、よき社会人、よきリーダーとなっていくことも視野に入れていきます。活動は保健委員が母体ですが、心理学科や教員志望の3年生など希望者も参加しています。興味のある生徒が集い活動している側面もありますが、内容は各学年のLHR運営に生かされており、委員会活動の一環として学級や学校全体のあたたかい集団づくりに貢献することで全ての生徒に還元しています。内容の充実を図るため、校外からも専門家をお招きし、最新の研究を踏まえた学術的裏付けのある活動ともなっています。以下、今年度行った実施要項を掲載し、内容を紹介します。

### 岡山朝日高等学校 令和5年度 ピア・サポート集中トレーニング実施要項

令和5年7月24日・7月25日 於：岡山朝日高等学校

日	時間	項目	内容	担当者
	13:45~	集合・点呼	会議室で点呼を受け、名札をつける。	
7月24日	13:45~ 14:10	アイスプレイング	お互いに知り合おう(グループになり、短時間でグループのメンバーの情報をできるだけ聞き出す。その情報をもとに、グループの情報共有度を競う。)	信宮 五百蔵
	14:10 ~14:30	ピアサポート活動について	ピア・サポート活動の説明と、その目指すものを現在の朝日高校の不登校出現率やいじめ・悩み調査などのデータを使って説明する。	信宮
	14:30 ~15:30	自己理解と視点の転換 ~作品制作を通して~	書道の作品制作プロセスを利用し、自分のアプローチ(行動様式)を分析し、異なる要素(視点)を取り入れて、作品に変容が起こる体験を持つ。その方法を日常の思考や行動に活かせるようにする。	北村 信宮
	15:30 ~15:35	本日のまとめ	今の段階で自分にできそうなサポート活動について考える。	信宮

	時間	項目	内容	担当者
7月25日	9:30	点呼	会議室で点呼を受け、名札をつける。	山下・五百蔵
	9:35~	アイスプレイング		信宮
	9:50 ~10:30	コミュニケーションスキル トレーニング	話の上手な聴き方演習。聞き手の態度や姿勢によって、話し手の気持ちや会話がどのように変化するかを実感する。日常の対話やピア・サポート活動の実践に生かすことができるようにする。	生徒 信宮
	10:40 ~11:40	アンガーマネジメント	学校生活や家庭生活での具体的な場面を想定し、その場面でそれぞれの人々がどのように感じているのかを演習をしながら知ることで、人の感じ方は様々であることを体験する。さらに、怒りについて理解を深め、対処法を習得し、それを活用できるようにする。	池本 北村
	11:40 ~12:40	こころの整理と課題の解決	積極的な聴き方で解決へと進んでいくこともあるが、課題の具体的な解決を求めて悩んでいることもある。解決方法の選択肢を増やすサポートを通して、当事者が解決策を選択し、具体的な行動計画を立てるステップを学ぶ。	大西 池本
		昼食		
	13:40 ~14:40	守秘と限界	ピア・サポートをするとき、相手との間で秘密を守る約束をすること、守ってはいけない秘密があること、それらを相手にどのように伝えればよいかについて学習する。	池本 大西
	14:50 ~15:20	個人プランニング	自分の特徴や個性を活かし、仲間の役に立つ実現可能な計画を立てる。全体で発表することで、仲間同士の連帯感や互いに応援できるような関係やモチベーションを高める。	信宮 北村
	15:20 ~15:30	トレーニングのまとめと感想	講師の先生方から講評をいただき、夏休みあけのクラスの様子と朝日祭準備中のクラスの様子に気をつけるようにする。	北村 山下

## ◎スクールカウンセラー来校日について

1/16 (火)	1/30 (火)	2/13 (火)	3/18 (月)
----------	----------	----------	----------

スクールカウンセラーの大西由美先生(臨床心理士)は、本校の卒業生で、教諭としても長く勤務されたご経験があり、本校生徒の悩みに一番長く寄り添ってこられた先生です。大学の相談室や他の県立高校でもカウンセラーとして活躍されています。

「スクールカウンセラーによる相談」は時間の調整が必要なため、予約をいただいています。ご希望の場合は、教育相談課(北村博典・山下知子)または担任までお知らせください。深刻な相談だけでなく、ささいな気がかりであっても、気軽に相談してください。

TEL 086-272-1271 (岡山朝日高校)

## I'm educated!

## 信宮 優子

教員をしているからだろうか。その昔の授業での先生の言葉を、ありありと思い出すことがある。

皿洗いをしているとよく思い出す。高校一年の時、家庭科の先生の言葉だ。「流しの中はそこうどんがこねられるくらいきれいにしましょう」びっくりした。周囲からも、えーっと声が上がった。この先生、家でもそうしてるのか?とちょっと疑ってかかったし、みんなもそんな感じだった。先生はどこ吹く風で我々の反応をスルーし、淡々と授業は続けられた。

この言葉は長い間ずっと忘れていた。思い出したのは、自分が家庭を持ち、人のために料理をするようになってからだ。洗い物の後、メラニンスポンジで流しをちょっとだけこすって、「ああ、ここうどんはこねられない」と思う。思ってオワリ。先生ごめんなさい。でもきれいにしなくちゃいけないことは分かっています、ハイ。

“I'm educated!” これは J. Webster による書簡小説 *Daddy-Long-Legs* 「あしながおじさん」の一節だ。匿名篤志家の支援を受け孤児院から大学へ進んだ Judy が、物語終盤、四年の学業を終え、その支援者に卒業報告をする手紙がこの言葉で始まる。尊大な言葉のような気がして自分には使えない。今も。でも流しの前で先生の話の思い出す時、「私は教育された」のだと実感する。知識とか、思考とか、知恵とか、想いとか、どう分類すべきかよくわからないけれど、必要な時に必要なものが思い出されることが「教育された」ということなのだろう、と感じる。ただ、学んだその瞬間に心が動いていないと思い出せないのだろう、とも思う。3年生がまもなく卒業していく。私はあなた方に、心が動く授業を、話を、してきただろうか。そして私自身の心もあの頃のように動いているだろうか。自省を込めて確かめる時期がまた巡ってくる。

息子が一人暮らしを始めた時に、下宿の流しの前でうどんの話をした。「僕にはできんけどな」二人とも同じようにちょっと笑ってこう答えた。ハイ分かっています、母さんもできてませんし、できません。でも伝えたからな。

この先生が今どうしておいでなのか、人から聞いたこともないし、人に尋ねようと思ったこともない。雑談など交わした覚えもないから、この先会うこともないだろう。でも、私を教育して下さったこの恩師に胸を張って言えることが一つある。それを報告できたらな、と思う。

「二人のZ世代が先生の教えを受け取っていますよ。(たぶんね)」

